

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

2020年 5月 9日

報告者：友松知宏

1、計画の概要

| | |
|--------|--|
| ブロック名 | 九州／第5回 |
| 計画区間 | スタート地点：長崎県長崎市千々町／千々簡易郵便局 ゴール地点：JR長崎本線小長井駅 |
| 実施期間 | 令和2年3月28日(土)夜行バス＝3月29日(日)～4月3日(金) |
| 概算歩行距離 | 153.8Km |
| 1人当費用 | 71,209円 |

2、メンバー表

| | 役割・分担 | 氏名 | ワゲル期 | 備考(ワゲルとの関係等) |
|---|---------|-----------|------|-------------------|
| 1 | リーダー・記録 | 友松知宏(80才) | 8期 | 090-7774-8559 鳥取県 |
| 2 | 会計 | 友松和子(80才) | | 友松の妻 鳥取県 |

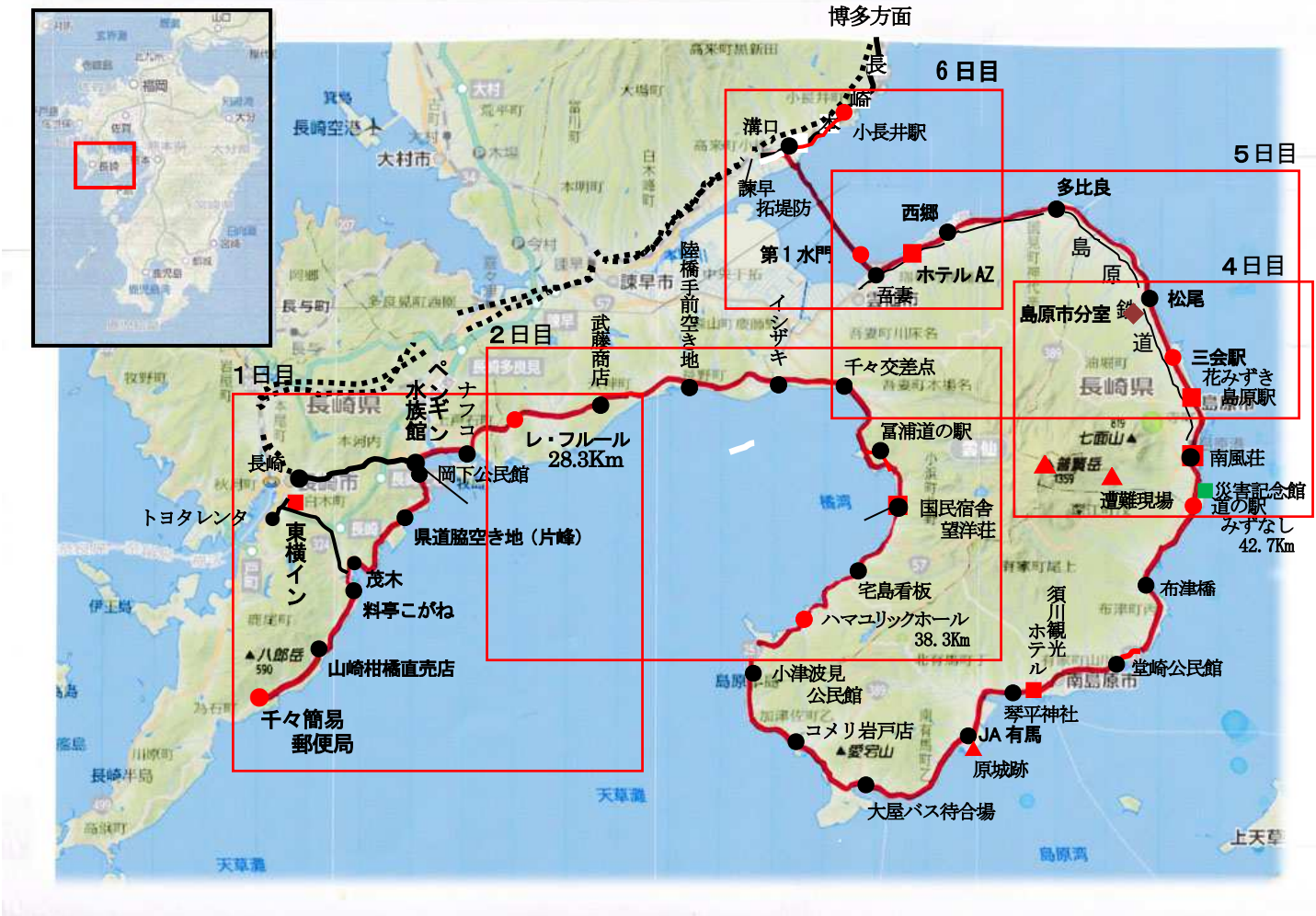
3、歩行概要

| | 月日 | 出発地～ | 到着地 | 距離 | 歩行者 | 備考 |
|---|-----------|--|-----|-------------|-------|------------------|
| 1 | 3月 28日 | 22:45 米子発＝バス＝ | | | 友松・和子 | |
| | 29日 | 博多駅＝JR特急かもめ＝09:50長崎駅＝トヨタレンタカー＝ 千々簡易郵便局～17:50レ・フルール(飯盛町古場)＝ 出島ワープ(長崎)＝東横イン(宿泊) | | 28.3 | | レンタカー借出 |
| 2 | 30日 | レ・フルール8:30～富津道の駅～宅島看板～ハマユリック ・ホール＝須川観光ホテル(宿泊) | | 38.1 | | |
| 3 | 31日 | ハマユリック～エネオス千々岩～富津海の家～望洋荘～ A有馬(原城跡観光)～琴平神社～堂崎公民館～布津橋～ 18:00道の駅みずなし本陣＝ホテル南風荘(宿泊) | | 42.9 | | |
| 4 | 4月 1日 | JR三会駅9:00～島原駅～10:30道の駅みずなし本陣＝雲仙岳 災害記念館＝島原市役所有明分室＝未来館＝平成新山ネイチャ センター＝普賢岳火砕流遭難現場(慰霊)＝JR島原駅18:39 ＝トヨタレンタカー＝島原船津駅～ホテルはなみずき(宿泊) | | 9.6 | | 和子米子へ レンタカー返却 |
| 5 | 2日 | 島原駅7:48＝8:04三会駅～西郷～15:00ホテルAZ 雲仙店 ＝タクシー＝諫早干拓堤防道第1水門～ホテルAZ(宿泊) | | 18.2 3.0 | 友松 | |
| 6 | 3日 | ホテルAZ＝堤防道第1水門7:50～11:00JR小長井駅13:44＝ 博多＝岡山＝伯耆大山＝20:30帰宅 | | 12.7 | | |

153.8 Km

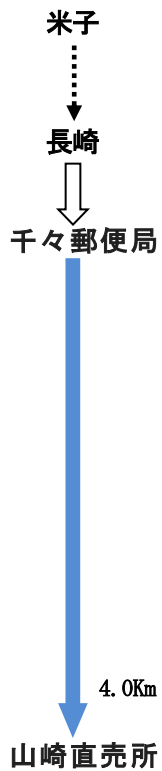
*長崎でレンタカーを調達し、歩行と車運転を交互に分担し、三会駅まで二人で歩き、島原駅から和子は帰り、5日目と6日目は友松が単独で歩く。

4、地図



5、詳細報告 (…→鉄道、バス、タクシー □→レンタカー、 →友松、 →和子)

1) 3月28日、29日 (晴れ→曇り)



22:45 米子駅前から博多行バスで出発。翌日 07:00 博多着 07:33=特急カモメ = 09:50 長崎着。タクシーで大浦海岸通りのトヨタレンタカーへ行き、ダイハツムーブを借りる。観光通り、茂木経由で前回の終点千々簡易郵便局へ行く。途中、各中継点の駐車場所を確認する。

11:20 局を出発。12:00 南中学校下。人家がまったくない海拔 200m の高台。目の前の橋湾は雲仙火山のカルデラで地下にマグマが沸いており、地震が多発。津波対策で高台に学校を建たのだから。それにしても通学が大変だろう。

12:40 最初の中継点、山崎直売所に到着。来る途中、店のご主人に店の前に駐車させてもらうことを頼んでいたの、店番をされていた奥様(山崎順子さん)に挨拶し、メッセージをお願いした。



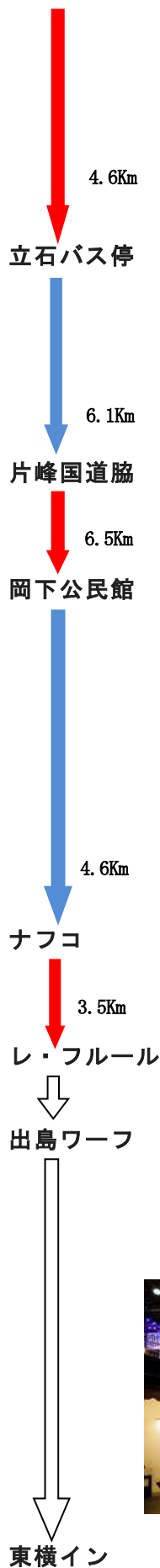
千々簡易郵便局



店の前の橋の袂に駐車



直売所の山崎順子さん



11:00 直売所出発。橘湾を見下ろしながらアップダウンのきびしい山道。この一帯は枇杷の栽培が盛んで、黄色い袋掛けが花のようで、天草灘の水の青に映えて美しい。



天草灘（橘湾）を遥かに枇杷畑

長い立石トンネルを抜けて 12:50 こがねに到着。こがねの前で待つが、目の前を友松の車が高速で通り過ぎる。200mほど追いかけて、Uターンして来た友松と合流。13:40 立石バス停で昼食。

14:00 立石バス停出発。茂木までの道沿は料亭が並び、長崎の奥座敷の観。14:35 茂木Sマート。朝方、ここで弁当を買ったので、分かっていたはずであるが、ヤフーの地図に海岸沿いの新道が記載されてなく、旧道のふるい集落を山越えした。同じ方向に歩く家族連れが「こちらからでも行けますよ」と途中まで一緒に歩いて下さった。14:35 茂木中学校前、16:10 片峰到着。ここでもうっかり中継点を通り過ぎ、1キロほど無駄に歩いた。

14:15 片峰出発。出だしは入江の出口を橋でつないで新道ができており、歩きやすいが、後半は谷ごとに道が出入りし、アップダウンもあり厳しい。ひたすら歩く。16:10 岡下公民館に到着。遅れている友松を待つ。

16:15 岡下公民館出発。次の中継点ナフコに向かう。

ペンギン水族館の敷地の海岸を歩けば最短距離を行けるはずであったが、入口を素通りしたため、1キロほど遠回りになったうえ、焦って地図の空白地帯に入ってしまう、現在地が分からなくなる。同じところを往復したり、信号待ちの高校生に尋ねるが埒があかない。コンビニに入り店員に尋ねるがこれも？。居合わせた男性がスマホで調べてくれた。海岸へ向かう目の前の道を直進せよと言われたが、100mほど先で大きくカーブしており、地図上、該当場所が見当たらない。元に戻ると件の若者が、車で送ると言う。丁寧に断りして、教えられた道を進むがやはり釈然としない。ジョギングの若者が来たので、4度めのお訊ね。今度は確りと「この道を行けばナフコ」と教えてくれた。ようやく周囲の景色も読めてきて、1時間遅れで 18:00 ナフコ到着。後で分かったのだが、600mほど手前と勘違いしていたのが原因。長い1日であった。

ナフコに車を置き、今日の最終目的地、山中にある噂の洋菓子店「レ・フルール」に向かう。緩い登りの一本道。迷うことなく 17:55 レ・フルールに到着。噂の店と言うので期待していたが、本日休業。

18:20 友松到着。今日の宿泊地長崎に向かう。

19:10 出島ワーフ到着。出島ワーフは夜景が良い。停泊している船のイルミネーション、ライティングされた稲佐山、海岸に並んだレストラン、異国情緒に満ちた界隈である。肖像画のカプチーノで人気のアティックに入る。2000 円のセットを頼む。本格的なイタリア料理。生ハムが旨い。カプチーノのはシーボルトと、坂本竜馬を頼む。



出島ワーフ夜景



シーボルトのカプチーノ



船舶のイルミネーション

友松のドジのために時間がなくなり、稲佐山にも上がれなかったが、気持ちよい夜を過ごし 21:00 駅前の東横インにチェックイン。

2) 3月30日(曇り⇒一時雨)

東横イン
↓
レ・フルーレ

6:40 朝食。いつものバイク形式ではなく、一人分ずつパックされている。スタッフはコロナ対策で透明プラスチックのマスク。7:30 出発。

8:20 フルーレ出発。

9:25 セブン・イレブン馬場。振り返ると飯盛山。この飯盛町のシンボルである。

10:45 武藤商店前到着。和子から連絡がないので、途中かと注意しながら走るが中継予定地(陸橋手前空き地)にも居ない。道に迷ったかと武藤まで戻ったり、先にまで走ってみるが見つからず、迷走。



飯盛山 (294m)

5.4Km

武藤商店

↓
8.4Km

8:40 武藤商店出発。雨を避けて俯きながら歩き、次の中継点の目標(頭上にかかる陸橋)を見過ぎてしまった。唐比病院を過ぎたあたりで、友松に電話が通じ、10:50 追いついた友松と運転を交代。臨時中継点コメリに向かう。

唐比病院の0.5Km先

↓
3.7Km

車を引き渡し、臨時中継点コメリに向かう。11:50 コメリ着。車を回収、千々岩に向かう。

コメリ

↓
3.5Km

11:10 臨時中継点コメリ出発。12:00 エネオス千々岩店着。友松と合流・昼食

エネオス千々岩

昼食後次の中継点富津道の駅を確認するため車を走らせるが見つからず、庭仕事している人に尋ねると、道の駅は廃業。場所を教えてもらい、エネオスに戻り、改めて13:10 出発。

すぐ先の交差点に石碑がある。旧上千々岩駅の記念碑である。かつてここは諫早から備前小浜までの軽便鉄道の間駅で、今歩いている251号は昭和13年までは鉄道であった。それで、陸橋が頭上を横切っている意味がわかった。富浦への道も、橋と切通とトンネルの連続である。切通しの壁の岩に鑿の跡が残っている。



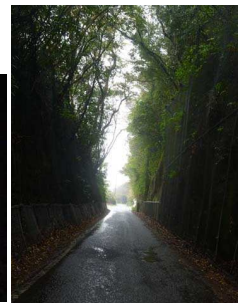
上千々岩駅跡



記念碑の写真より



現在の251号線トンネル



同切通し

弁天入口バス停で村道に下る。急斜面には張り付いた家並みの細い路地伝いに集落を抜け、14:40 富津道の駅へ上がる。

5.4Km

富浦道の駅跡

↓
4.7Km

雲仙警察署



富浦弁天集落 (○印が道の駅跡)



集落の細い路地を歩く



13:40 富津道の駅跡を出発。15:10 望洋荘津着。友松が望洋荘見つけられず通り過ぎたので、雲仙警察署まで移動し友松と合流。運転交代。



宅島看板空地

15:20 雲仙警察署を出発。16:30 宅島看板空地到着



ハマユリックホール

16:20 出発。17:25 ハマユリックホール到着。友松と合流



須川観光ホテル

18:30 須川観光ホテル到着。宿泊。



須川観光ホテル狩野照代さん

3) 3月31日(曇り)

須川観光ホテル



ハマユリックホール



小津波見公民館前

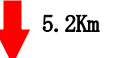
8:45 ホール出発。島原半島は全体が火山で、平地が少なく、段々畑が発達している。山の上まで見事な石垣が積み、馬鈴薯が栽培されている。馬鈴薯王国北海道の最遠の地、九州でも馬鈴薯なのが面白い
9:45 国崎半島入口。10:20 小津波見公民館先のバス停着。



南串の段々畑



小津波見バス停



コメリ岩戸山店

8:50 小津波見公民館前出発。10:10 コメリ到着。



大屋バス待合所

8:50 コメリ出発。岩戸山が水面に映えて美しい。原城が近づいて、切支丹の旧跡が次々と現れてくる。
11:35 口佐高校まえバス停で休憩。ベンチで相席の女生徒2人と歓談。メッセージを書いてもらった。



岩戸山



加津佐切支丹遺跡



JA 有馬店

10:40 大屋バス待合所出発。12:15JA 有馬店着。12:35 友松到着。昼食後、島原の乱の原城見学。通り合わせた方が原城入口まで先導して下さり、原城跡に入る。当時の建造物はほとんど残っていない。石垣も、近年再築されており、ひたすら広大な丘陵が原城の痕跡である。130年後に地元有志が敵味方の区別なく、遺骨を拾い集め、供養したホネカミ地蔵が一揆に対する人々の想いをいまに伝えている。



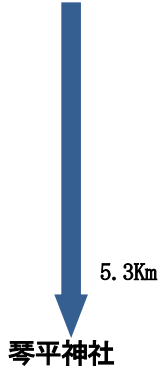
原城跡全景



天守閣跡に建てられた十字架



ホネカミ地蔵



5.3Km

5.3Km

5.0Km

5.2Km

5.0Km

5.2Km

5.0Km

5.2Km

5.0Km

14:10 JA 有馬店出発。道中、潜伏切支丹遺跡の標識が建っているが、ロザリオを胸につけた石の観音像に出会った。潜伏切支丹は仏教や神道とも結びつき、今もキリスト教、仏教、神道合同の祭りがあるらしい。15:15 日野江の里/天守閣タワー着。

15:50 琴平神社下のコンクリート工場到着。車を回収し次の中継地堂崎公民館へ向かう。

琴平神社の先のコンクリート工場に車を預け、15:30 出発。

16:40 堂崎公民館到着。車を回収し布津橋へ向かう。

16:35 堂崎公民館出発。17:45 ぶつぶつ市場、18:10 布津橋着

16:35 布津橋出発。18:00 道の駅水無本陣着 18:30 友松到着。

本陣裏に火砕流の被災家屋が保存されているが、見学は明日にして、今日の宿南風荘に向かう。1時間遅れで南風荘にチェックイン。食事の予約にも遅れており、レストランへ直行。今回唯一の豪華版ディナー。もう少しゆっくりしたかった。



十字架をつけた観音像



南風荘レストラン

4) 4月1日 (雨→曇り)

4.5Km

4.7Km

4.7Km

4.7Km

4.7Km

8:10 南風荘出発。8:50 三会駅前を出発。

雨と強い風に煽られる。9:55 島原駅、10:20 ガスト島原店着

9:00 ガスト島原店出発。左折ヶ所を間違えて少し遠回りして、10:30 道の駅水無本陣着。まもなく友松到着。

普賢岳火砕流遭難現場 (通称: 定点) の場所を訊こうと、災害記念館を訪ねるが、コロナで休館。市役所に電話をして、有明分室の市民安全課防災班の伊藤貴章さんにお会いした。

定点は立ち入り禁止だが、水無川対岸 (右岸) の未来館から遠望できるとのことで、未来館に行くが広い荒れ地のどこが定点か分からない。

少しでも近くに行こうと気を取り直し、左岸を遊行。この辺りと思われるあたりに、河川敷へ下りる枝道があるが通行止め。慰霊にハーモニカで「何時かある日」を吹く。何となく去り難く、更に道を進み、峠付近で雲海に入って視界がなくなり、Uターンしていると、目の前に平成新山ネイチャーセンターの建物がある。館員の大脇さんが親切に教えて下さった。先刻の枝道のほんの少し上である。お礼もそこそこに山を下りる。

通行止めの柵を乗り越えて 150m ほど先に定点はあった。枝道から 3m 上がった奥に慰霊碑と、簿名碑。26 期矢内万喜男君の名前を見つけた。ここで、1991 年 6 月 3 日、普賢岳の大火山火砕流で報道関係 16 名、消防団員 12 名等計 43 名が亡くなった。矢内君は NHK のカメラマンとして参加し、30 歳半ばの若さでの天逝である。

保存されている消防車や特にタクシーは、焼け爛れて原型を留めておらず、火砕流の猛威を物語っている。

夕刻が迫っており普賢岳登山は断念。定点を後にする。普賢岳に登ることができなかったが、定点に立つことができ、何とも言えず満ち足りた気持ちで、妻を島原駅に送った。



未来館屋上から定点 印を望む



定点の慰霊碑 (左) と墓名碑 (右)



消防車の残骸

和子は17:41 発に乗り、諫早＝博多経由で米子へ帰る。

友松はトヨタレンタカーへ車を返し、島原城裏手のホテル花みずぎにチェックインした。



島原駅から和子は帰宅



夕暮れの島原城

花みずぎ

4) 4月 2日 (曇り⇒晴れ)

島原駅

三會駅

7:48 島原駅で諫早行に乗車。8:00 三會駅から歩行開始。雲が残っているが、天候は回復し、今まで見えなかった普賢岳の全容が見えてきた。

最初に眉山(まゆやま)を見たとき、若者が仰向いて寝ている横顔を連想。一度そう見ると何度見ても若者の顔に見え、話しかけているようで、何度も振り返った。午後になって普賢岳も姿を現した。



三會駅



眉山 (818m)



普賢岳 (1,347m)

14:00 西郷駅前。休憩しようと立ち止まったところへ、向かいの家から女性が出てきて、話しかけられた。今一人の女性を手招きする。歩いてくるところを見ていたらしい。後から来た女性がアスパラ・ドリンクを持ってきて、これで元気をつけろという。ご主人がご兄弟とのこと。お二人とも70歳前後、銀髪の粋なお姿。後の方は早々に家へ戻られたが、最初の方は好奇心の旺盛な方のように、15分ほどお話しして、メッセージを書いて頂いた。写真を撮らせてもらおうとしたら、嫌だと逃げてしまう。最後にハグしてお別れした。帰ってからYahooの地図を見て気が付いたのだが、呉服屋の大女将さんだったらしい。

18.2Km

ホテルAZ 雲仙店

15:00 ホテルAZ 雲仙店到着。



諫早干拓第一水門

15:30 タクシーを呼んでもらい、2キロ先の諫早干拓堤防の島原側の第1水門まで運んでもらう。

3.5Km

ホテルAZ 雲仙店

16:30 第1水門出発。普賢岳が真正面に見える。

17:30 ホテルAZへ帰着。



諫早干拓堤防から普賢岳を望む

5) 4月 3日 (曇り)

諫早干拓第一水門

タクシーで第1水門に行き8:00 出発。9:30 第2水門、10:50 長里駅、11:30 小長井駅着。

12.7Km

小長井駅

駅前によろず屋があるが弁当類はない。200m 手前にタコ焼き・焼きそばの店「アイアイランド」があり、ビールを飲みたいという駅前の店で買ってこいという。

持ち込みで2時間居座り。馴染み客が出入りし、メッセージを書いてもらったりで退屈する間もなく、定刻となり、13:44 発に乗り、博多＝岡山経由で20:20 米子に帰る。



諫早側第2水門



アイアイランド平田勝子さん 島田晟旺君 (1歳9か月) 美和子さん

今回の終点小長井駅

6) メッセージ

別紙

7) 会計

| | | |
|---------|--------------|----------------|
| 交通費 | 鉄道運賃 | 19,280 |
| | バス代 | 26,700 |
| | タクシー | 5,400 |
| | レンタカー (ガソリン) | 29,700 |
| | ガソリン | 1,502 |
| | <u>合計</u> | <u>85,582</u> |
| 宿泊・飲食費 | | 56,135 |
| 雑費(駐車場) | | 700 |
| | <u>合計</u> | <u>142,417</u> |
| 一人当たり合計 | | <u>71,209</u> |

以上